



備北地区消防組合は、三次市と庄原市を管轄しており、広島県の面積の約4分1にあたる広大な面積を、1消防本部、3消防署、7出張所、総員211名の職員が、住民の方が毎日安心して暮らせるよう働いています。


係	職員	勤続年数	1 仕事内容 2 消防士をめざす人へのメッセージ
救助係	<p>ササキ ダイチ <b>佐々木 大智</b></p> <p>採用年月日 平成21年 4月 1日</p> 	12年	<p>1 特別救助隊として、火災、交通事故、水難事故などあらゆる災害現場において最前線で活動をしています。多様化、大規模化する災害に対応するため、日々訓練や研修を重ねるとともに、隊員同士のコミュニケーションを大切に仕事に励んでいます。</p> <p>2 消防は危険な現場が多く、人命に関わる仕事で、簡単なことではありません。しかし、信頼できる上司、仲間と団結し、災害現場の最前線で活動することはとてもやりがいを感じることができます。皆さんも住民の安心・安全を私たちと一緒に守りましょう！</p>
救急係	<p>モリタ モモエ <b>森田 百絵</b></p> <p>採用年月日 平成15年 4月 1日</p> 	18年	<p>1 救急救命士として24時間勤務で救急業務を行っています。病気やけがをされた方の状態を確認し、救命のために必要な処置を行いながら適切な病院へ救急車で搬送するのが主な仕事です。市民の皆さんに応急手当を知っていただくため救急教室や救命講習等も行っています。また、平成30年7月豪雨災害では安芸郡坂町に派遣され行方不明者の捜索活動も行いました。</p> <p>2 消防の仕事は消火、救急、救助等の現場活動だけでなく火災予防や火災原因調査など多岐にわたり、人命に関わる重大な責任があります。「女性だから」と、自分で制限を設けず向上心を持って取り組めば、可能性に溢れた仕事だと思っています。</p>
	<p>マエカ ユキ <b>前岡 由紀</b></p> <p>採用年月日 平成18年 4月 1日</p> 	15年	<p>1 二人の子育てを行いながら、勤務をしています。現在は救急隊としてけがや病気で苦しむ方のところに救急車で出場し、適切な観察や処置を行い病院へ搬送する業務、また、庶務係として職員の様々な手当を管理・報告する事務も行います。男性が多い職場ですが、女性が居てくれて良かったと安心していただけるように、市民の皆様へ寄り添えるよう心がけています。</p> <p>2 備北消防では家族の行事、学校行事、子どもの病気や健診の際に休暇を取得しやすい職場環境をめざしており、私自身安心して子育てを行いながら業務にあたっています。自分の意識次第で、仕事もプライベートも充実できる職場だと思っています。ぜひ一緒にがんばりましょう。</p>
通信指令係	<p>ウヤマ ヨシヤス <b>卯山 善康</b></p> <p>採用年月日 平成21年 4月 1日</p> 	12年	<p>1 みなさんは火事や救急が起こったら何番へ電話しますか？そうです、119番です。この119番が繋がっているのが通信指令室です。ここでの仕事内容は、119番通報をうけ災害の発生場所を特定し、最も近い場所にいる消防隊・救急隊に出動指令をし、災害対応にあたらせます。そして、通信指令室から無線や電話を利用して出動隊の消防活動を統制・サポートするのが主な仕事です。</p> <p>2 近年、災害の大規模化、多様化が問題となっており、これらの災害に対応する消防組織は社会においてますます重要となってきています。消防はやりがいのある仕事です。災害から三次市・庄原市の地域に住んでいる人を守りたい。町を守りたい。と思う人は、ぜひ、備北地区消防組合採用試験を受験してください。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。</p>

警防係	<p>ヤナギ トモキ 柳 智樹</p> <p>採用年月日 令和2年4月1日</p> 	1年	<p>1 私は警防係に所属しています。警防係は、主に火災が起きた際に消火活動を行う係です。消火栓や防火水槽、また車両や資機材等を火災時に異常なく使用できるように日々点検・整備をしています。その他の時間は、出動のために工事中の道路や狭い道路の確認、火災だけでなく水害や救助事案にも対応するために想定訓練を行っています。また、火災が発生した際には原因や損害額を調査し、対応の成果を検討したり、火災予防を推進するための資料収集をします。</p> <p>2 大学では「地方における地域活性化」について専攻し、地元住民の安全を守るという形で備北地域に貢献したいと考え、消防士になりました。1年目は体力的にも精神的にもきつい面もありましたが、地域住民を災害から救うというのは大変やりがいのある仕事だと感じ、より成長したいと考えるようになりました。地域住民の安全を守るために一緒に頑張りましょう。</p>
	<p>タカタ ユウゴ 高田 友吾</p> <p>採用年月日 平成31年4月1日</p> 	2年	<p>1 現在、予防係で勤務し、消防法令に基づき、火災予防広報活動、防火対象物の検査、各種届出の受理・審査を行っています。全てが初めてのことで、わからないことも多いですが、これら全てが火災の予防につながり、火災を未然に防ぐことで地域の方々の命や財産を守ることができると確信しているのととてもやりがいを感じています。</p> <p>2 学生の頃は毎年救急教室に参加していましたが、家族が倒れた際、私は救急隊が来るまで何も処置できず、ただ見ているだけでした。せっかく救急教室で教えてもらったことも実践できず、この時の事を、今でもとても悔しく思っています。このような思いを誰にもしてほしくない、多くの人の役に立ちたいと思い高校を卒業して消防に入ろうと思いました。</p>

## ～職員の軌跡～


職員の成長の軌跡を紹介します。

職員は、日々様々な職務を経験し、消防士として必要な知識技術の習得に努めています。

職員	勤続年数	1 仕事内容 2 消防士をめざす人へのメッセージ
<p>ダイ マサヤ 臺 雅也</p> 	1年 (H30年)	<p>1 消火活動や救助活動を行っています。また、ヘリコプターの警戒や油の漏洩などでも出動します。出動がないときは、災害現場を想定した訓練、体力錬成を行い、いつでもどこで起こるか分からない災害に対応するため、車両や資機材の整備・点検を行っています。その他にも火災の発生原因を調査や消火栓や防火水槽が常に使える状態かどうかなどの点検を行っています。</p>

あれから...



	3年 (R3年)	<p>1 1年目の頃は右も左もわからない状態で、ひたすら与えられた仕事をこなす日々で、消防の業務がどんなものか深く理解できないまま時間が過ぎていきました。災害出動も反省点が多く、隊の一員として役に立てない悔しさを感じていました。それから2年が経ち、現在は消防隊員、救急機関員として多くの火災現場や救助事案に出動しています。まだまだ技術も知識も身につけている最中ですが先輩からのアドバイスのおかげで、業務内容も理解し適切な対応が出来るようになり、消防職員として成長することができました。また、一般的な仕事とは違い24時間勤務の消防業務の中で隊員間の信頼感も生まれプライベートでも趣味の野球観戦や釣りに連れて行ってもらい公私とも充実した日々を送っています。</p> <p>2 これから、さらに後輩が増えていくので、今まで以上に勉強し、「頼れる先輩」を目指して努力していきます。同じ隊で共に活動できる日を待っています！</p>
---	-------------	--